

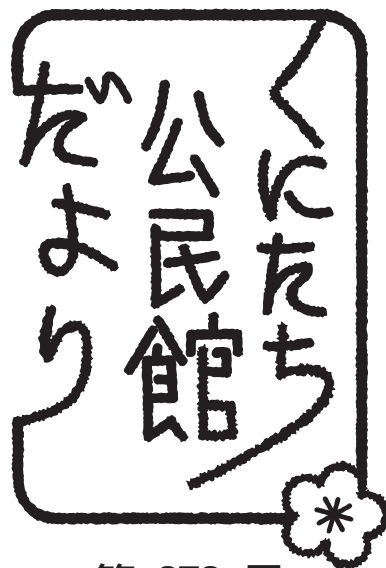


今年3月の講座の様子

国立市は全国で4番目に面積の小さな市である。でありながら、3段の河成段丘の崖線を持ち、その間は緩い勾配の台地が開け、南に多摩川が流れている。また、大穴通りの樹齢80年を超える都内有数の桜の緑地帯をはじめ、東京都の天然記念物である谷保天満宮社叢、多摩川周辺の沖積低地の田んぼや梨畑、ツバメの飛来など豊かな自然を有している。谷保には五街道のひとつ甲州街道が通り、昔は湧水を用いた立湯茶屋があった。そして、緑川東遺跡出土石棒等の学術的価値の高い文化財もある。このように観光地ではないが、地形、自然、歴史、文化の豊かな土地である。

この国立を歩いて探索する公民館主催の「くにたちの街道を歩く―まちを歩き、地域を知る―」が地形図の達人の今尾恵介先生を講師に今年3月に行われ、私たちの会もお手伝いした。谷保の青柳崖線を中心にして歩き、地形、自然、歴史、文化等が説明された。普段

何気なく歩いている地元でも、その背景や経緯などが分つてくると物の見方が、がぜん変わるものがある。これはお仕着せのガイドだけの観光見学では味わえない地元歩きの醍醐味だと思う。このことは、NHKテレビで放送中の「ブラタモリ」に通じるものである。国立まなびあるきの会では、会員の地域の疑問や希望を話し合っ



第 676 号
2016年6月5日
(平成28年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

国立歩きのすすめ

深見 弘(国立まなびあるきの会)

疑問をもとに現地を踏査して発見をしていくことは楽しいことである。さらに、それを共に楽しむ仲間がいることは楽しみを倍加してくれるものである。

国立まなびあるきの会では現地歩行や各自が調査した成果をまとめて「まなびある記」の冊子を作りしている。冊子作りの作業は手間がかかるが、皆で協力すれば素人でもそれなりの製本が出来、有料で配布している。

このような国立まなびあるきの会と一緒に「国立歩き」をしませんか。

〈地域史講座・フィールドワーク〉 くにたちの市境を歩く① ―まちを歩き、地域を知る―

講師 今尾 恵介 (日本地図センター客員研究員)

昔と今の地図を見比べると、国分寺から国立に編入された土地や、国立から立川に編入された土地があります。市境を歩きながら、その歴史をひも解きます。

前半は、まちを歩くことの魅力や今回のコースについて今尾さんからお話をうかがい、後半はまちに出て歩きます。

とき 6月26日(日)朝9時30分～12時半ごろ

*少雨決行。ただし荒天の際は、室内で写真等を見ながらお話を伺います。

定員 20名(先着順)

集合・解散 北市民プラザ 第一会議室集合、
北第一公園解散

持ち物等 歩きやすい服装、飲み物、筆記用具

申込先 6月7日(火)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

協力 国立まなびあるきの会



「まなびある記」

*前記①～③の疑問の答えは、国立市公民館・くにたち中央図書館・くにたち郷土文化館所蔵の「まなびある記」第1、2巻をご覧ください。

公民館のQ & A

このコーナーでは公民館について一問一答形式で紹介していきます。

Q これまで公民館を利用したことがありません。利用にあたって使用料が無料だと聞きましたが、市民であれば誰でも使用することができるのでしょうか？



地下ホール：定員85名

A：公民館は、市民のための社会教育施設ですので、市民どなたにでも利用してもらえる施設です。社会教育法第20条では、「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」としています。公民館はこの目的のもと、講座の開催、図書室の運営、住民の集会その他の公共的利用への施設(会場)貸出などの事業を行っています。多くの市民が様々な学習機会や市民活動を通じて、地域に関わっていくことが公民館の願いでもあります。

国立市では、主催講座や図書室などは個人で参加・利用できますが、公民館の会場(大・中・小の集会室やホール・音楽室など)利用は、グループ・団体でお使いいただく会場のため、個人で利用することはできません。利用できるグループ・団体とは、3人以上でそのうち市内在住・在学・在勤の方が概ね8割以上であることが要件になります。そのほか、営利活動や特定の政党・宗教を支持する活動など、公民館の目的に反するおそれがある場合は、利用の許可ができないことがあります。

参加費・利用料は無料です。ただし、講座によっては材料費などの実費を負担していただく場合があります。詳しくは、お問い合わせください。

※利用要件については、今後のQ & Aコーナーで引き続きご案内していく予定です。



3階 中集会室：定員20名

第61回くにたち市民文化祭

～開催予定期間が決まりました!～

今年のにたち市民文化祭の実行委員長と開催予定期間が決まりました。展示や発表、一緒に参加できるものなど今年も盛りだくさんです。詳しい日程や行事の内容については、公民館だより10月号等でお知らせします。

◆開催予定期間
平成28年10月29日(土)
～12月11日(日)

◆実行委員長
渡辺 恵子
(芸能フェスティバル)

◆次回実行委員会
とき 6月23日(木)夜7時～
ところ 公民館 地下ホール
問合先 公民館 ☎(572) 5141



緑化ボランティア募集

公民館の緑化活動に参加しませんか

ボランティアの方々のご協力により、公民館の緑化活動に取り組んでいます。活動にご興味のある方、協力していただける方は公民館までご連絡ください。



←アンネのバラ

↓公民館南側にもバラが咲いています



活動内容：植木の剪定、グリーンカーテンの設置、草花の栽培・手入れ、敷地内の除草など
活動頻度：月2回程度(水曜日1回、土曜日1回)

〈公民館ロビーコンサート〉

君と同じ街に生きて

～町田市「とびたつ会」コンサート～

歌とお話 町田市「とびたつ会」

公民館1階ロビーの、しょうがいのある若者とない若者が一緒に活動する「喫茶わいがや」は、「障害をこえてともに自立する会」が運営し、36年間にわたり市民に親しまれてきました。



今回、公民館と「喫茶わいがや」が共同企画でお招きする「とびたつ会」は、しょうがい当事者たちの「本人活動」を行う団体です。町田市で活動する「とびたつ会」では、障害者権利条約や出生前診断等、しょうがいしゃの暮らしや「いのち」にも関わるさまざまな学習を行うとともに、オリジナルソングのコンサート活動をしています。

しょうがいしゃがあたり前に暮らすまち・国立市で、歌を通じてしょうがい当事者の思いに触れてみませんか。コンサート終了後、希望者で交流もします。もちろんコンサートだけの参加も可能です。お気軽にお越しください。

とき 7月2日(土) 昼3時～4時
ところ 公民館 1階市民交流ロビー
*申し込みは不要です。ご自由にお越しください。

〈多文化共生事業〉

外国人労働者の日本での働き方と 地域社会の受け入れ方

講師 丹野 清人(首都大学東京)

現在、日本で働く外国人労働者は製造業やサービス業を中心に90万人以上といわれています。さらに、国際貢献の一環として行われている技能実習制度を利用して技術習得のために来ている実習生も10万人以上と増加傾向にあります。こうした外国人の中には、家族とともに来日している人も少なくなく、地域での生活や言葉、子どもの学校、進学など、さまざまな問題を抱えています。

少子高齢化が進む日本社会において、外国人の労働力は企業の担い手となっている中、私たちも地域として何ができるのか一緒に考えます。

とき 7月10日(日) 昼2時～4時
ところ 公民館 3階講座室 定員 30名(申込先着順)
申込先 6月7日(火) 朝9時～
公民館 ☎(572) 5141

〈図書室のつどい〉

死にゆく過程を生きる

—病院死の時代を超えて—

お話し 田代 志門

(国立がん研究センター生命倫理研究室室長)

告知、療養環境の選択、何かを遺すこと——。がんと向き合う患者や家族は、具体的な治療の選択以外にもさまざまな「生き方」についての選択を迫られています。しかし、これは患者とケアする側だけの話ではありません。いずれ死を迎える私たち全ての人々が直面する共通のテーマです。今回は、「生命倫理学」の研究者として病院で働く田代さんから終末期ケアの大きな社会的変化についてのお話をうかがい、自分の生き方を改めて考えます。

〈田代さんの本〉『死にゆく過程を生きる—終末期がん患者の経験の社会学』(世界思想社)、『どう生きどう死ぬか—現場から考える死生学』(弓箭書院)ほか多数。

とき 7月3日(日) 昼2時～4時
ところ 公民館 講座室 定員 35名(当日先着順)
*申し込みは不要です。ご自由にお越しください。

〈超高齢社会を考える・ドキュメンタリー映画〉

『徘徊～ママリン87歳の夏～』

—あなたの大切な人が認知症になったら—

監督 田中幸夫 2015年 カラー77分



大阪北浜。大都会の下真ん中に、ちょっと訳ありの母と娘が住んでいる。母は認知症、娘は自宅マンションでギャラリーを営む。昼夜の別なく徘徊する母と見守る娘の姿は、近所の誰もが知っている。徘徊モードが一息つけば、母娘一緒に居酒屋やバーにも寄る。そんな二人の生活は6年になる。不条理な生活をユーモアでしのぐ。認知症を受け入れるとは……、老いとは……、人間とは……。

不謹慎にも、母娘のズレまくりの掛け合いについて笑ってしまうような、従来の認知症ドキュメンタリー映画のイメージを変える作品。上映終了後は、自由参加で感想を出し合うなど交流する時間も設ける予定です。

とき 7月7日(木) 昼2時～4時半
ところ 公民館 地下ホール
定員 85名(当日先着順)
*ご自由にお越しください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈平和講座〉

ドイツの歴史教育 —ナチ時代をどう伝えていくか—

講師 川喜田 敦子 (中央大学)

1933年から1945年までの12年間、ドイツに独裁体制を築いたナチ党(国民社会主義ドイツ労働者党)。ユダヤ人迫害をはじめとする数々の加害の歴史や、その歴史に対する1985年の西ドイツ・ヴァイツゼッカー大統領演説「過去に目を閉ざす者は現在を見ることもできなくなる」という言葉は日本でも知られています。

一方、第二次世界大戦後、旧ドイツ領やナチ・ドイツの占領地域からドイツ人が追放される出来事がありました。この被害体験への注目は、東西ドイツ統一以降にやや強まっているようです。

ドイツの歴史教育では、ナチ時代をどのように取り上げ、どのように次世代へ伝えてきたのでしょうか……。

フランスやポーランドなど周辺国との歴史教育分野での対話についてもお話をうかがいながら、過去とどう向き合うかを考えます。

とき 7月8日、22日(全2回)
いずれも金曜日 夜7時～9時

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名(申込先着順。両日参加できる方優先。)

申込先 6月10日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈環境講座〉

フードバンクという挑戦 —貧困と飽食のあいだで—

講師 大原 悦子 (津田塾大学特任教員)

十分食べられるのに、ラベルの印字ミスや規格に合わないなどの理由で売り物にならないと判断され、捨てられてしまう大量の「食品ロス」は、年間数百万トンともいわれています。しかし、その一方で、困窮する人々や食べられない子どもたちが大勢いる現状があります。

アメリカから始まった「フードバンク」という仕組みは、日本各地でも活動が始まっています。講師の大原さんは、両者をつなぎ、「もったいない」を「ありがとう」に変えるシステムであると言います。

フードバンクに携わる人たちの思いや課題を知り、私たちができることを考えます。

とき 7月9日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名(申込先着順)

申込先 6月7日(火)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈平和講座〉

混迷するリビア情勢と 「イスラーム国」の拡大

講師 小林 周^{あまね} (慶應義塾大学)

40年以上独裁体制下にあった北アフリカのリビア。2011年の「アラブの春」によりカダフィ政権が倒れ、一度は民主的な国づくりが期待されましたが、現在は再び内戦状態に陥り、政府は崩壊状態となってしまいました。さらに、過激派組織「イスラーム国」が混迷するリビア国内に入り込み、一部地域を支配するまでに活発化しています。混迷するリビア情勢の現状と将来について、若手のリビア研究者である小林さんにお話をうかがいます。

とき 6月17日(金) 夜7時～9時

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名(申込先着順)

申込先 6月9日(木)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

ヒトの心を探る

—心理学からのアプローチ—

人間の心ってどうなっているのだろう……。動物にも心はあるのかな……。あの人はどんな気持ちかな……。心と脳にはどんな関係があるのかな……。日々生きていて、ふとそんな風を感じることもあるのではないのでしょうか。

心を科学的に研究する学問・心理学から4分野を取り上げ、ヒトの心を探っていきます。

日時	テーマ	講師
7月12日(火) 夜7時～9時	身近な動物の 行動や進化	伊澤 栄一 (慶應義塾大学)
7月19日(火) 夜7時半～9時半	私たちの 感情や記憶	梅田 聡 (慶應義塾大学)
7月31日(日) 朝10時～12時	赤ちゃんから 大人になるまで	山本 淳一 (慶應義塾大学)
8月3日(水) 昼2時～4時	すき・きらいは どこからくるのか	川畑 秀明 (慶應義塾大学)

※全4回参加できる方優先。1回のみの参加も可。

ところ 公民館 地下ホール

定員 60名(申込先着順)

申込先 6月14日(火)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈くにたちブッククラブ 言葉のとげ、境界にたつ文学〉

夏目漱石『明暗』

(新潮文庫)

講 師 佐藤 泉 (青山学院大学・日本近代文学)

と き 6月9日(木)夜7時半～9時半

と ころ 公民館 3階講座室

申 込 先 公民館 ☎ (572) 5141

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。



(6ページにもあります)

ソフトテニス国立MJ

現在10名程の低学年中心の小学生がお母さん達と一緒にソフトテニスを楽しんでいます。男女問いません。無料です。興味のある方は見学に来て下さい。

日時 第二・四日曜昼1時～3時
場所 一中テニスコート
連絡先 濱本090(6138)1410

水泳「なかまの会」会員募集

泳ぐのが苦手な方から指導者を目指す方まで自分に合った活動が楽しめます。秋に40周年を迎えるサークルです。男女体験・入会歓迎。
日時 毎週火曜日朝10時～12時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 清水(575)9440

「国立練功会」会員募集

気功体操と24式を中心に、初心者対象として、楽しく太極拳をしています。初めての方でも安心して学べますので、是非体験してみして下さい!
日時 毎週火曜日朝10時～12時
場所 矢川集会所
連絡先 長谷川090(8303)7254

ダンスサークルへのお誘い

爽やかな季節です。社交ダンスで良い汗をかきませんか?プロA級の女性講師による丁寧な指導で男性会員も多く楽しくレッスンしています。自主練習あり見学自由
日時 月3回金曜夜7時～8時半
場所 福祉会館 4階大ホール
連絡先 伊東(575)7231

水彩画描きませんか 会員募集

水彩画を楽しむのびのびと描くことをモットーに活動しているサークル「くにたち彩の会」です。年一回作品展開催。一緒に水彩画を描いてみませんか。見学歓迎。
日時 第一・三木曜日朝9時半～
場所 芸小ホール アトリエ
連絡先 佐藤090(2459)5337



監督 アルベール・ラモリス
出演 パスカル・ラモリス、アンドレ・ジル、モーリス・パケ ほか

パスカルくんは好奇心いっぱい、冒険好きの少年。大好きな発明家のおじいちゃん、気球に乗って、ドキドキワクワクの空の旅に、さあ、出発!

詩情豊かなファンタジー映画『赤い風船』『白い馬』で知られる〈映像詩人〉アルベール・ラモリス監督初の長編映画。北フランスのリールから出発して、パリ、ブルターニュ地方を経て、雄大なアルプスへ……。自然や動物たちや人々の姿を、ヘリコプターを利用した空中撮影を用いた美しい映像で生き活きと描き出していきます。

〈シネマトーク〉

「ファンタジー映画あれこれ」

北里 宇一郎 (脚本家)

上映終了後、劇映画やドキュメンタリー映画の脚本のみならず、映画関係の書籍の編集など幅広く活躍されている北里宇一郎さんに、ファンタジー映画の魅力についてお話をうかがいます。

と き 6月26日(日)昼2時～5時(開場昼1時)

と ころ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)

*ご自由にお越しください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

公民館運営審議会報告

5月10日(火)第19回定例会を開催。委員14名、館長、職員1名が出席。傍聴2名。

前回の議事録確認

協議事項

○諮問「国立市公民館の事業評価のあり方について」を協議。評価の読み手を職員・行政管理者・市民とした三つの小委員会が前回定例会以降に開催された。各会からの審議報告とそれに対するさまざまな意見や提案等が述べられた。次回定例会は提案された意見を踏まえ各小委員会で再検討、柱建てなど、より明確で分かりやすい文案を作成していく。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会 4月「図書室のつどい」ブラック企業問題は日本の大きな課題。

5月号の事業一覧は講座企画の想いを伝える工夫ができないか。恒例の会場利用案内は大切な視点。

○社会教育委員の会 諮問「生涯学習推進計画のあり方」を検討中、現在の課題を书面化、今後は市内生涯学習団体を確認、答申を取りまとめていく。

○東京都公民館連絡協議会 各市から特徴ある主催事業の資料が持参された。今年度の委員研修会は2～3回企画していく。

○前回提案された職員人事意見書がまとまった。次週日程を調整して提出したい。

次回は6月14日(火)午後7時15分から。傍聴歓迎。(龍野)

ひろば

(5ページにもあります)



やってみよう！ソーラー上映会

「9条を抱きしめて」元米兵が日本国憲法第9条の大切さを語るDVDをソーラー発電で上映。ソーラー発電入門や裏ワザも紹介します。資料代500円。
日時 6月10日(金)夜7時
場所 スペースF
連絡先 藤井(573) 4010

「HUG」をくにたちで観る会

海南友子監督が見つめた3・11後の出産をめぐるセルフレディキュメンタリー。上映後にお茶会開催！未来を共に語り合います。一般千円、中学生以下無料。要予約。
日時 6月12日(日)昼2時3回上映
場所 リトマス 国立商協ビル内
連絡先 小笠原(303) 5993

第210回くいしんぼクラブ

ブリティッシュのアメリカ料理
お得意の家庭料理を習いましょう。材料費800円。ふきんとゴミ袋をご持参下さい。
日時 6月18日(土)昼1時
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

ピースリーディング発表会

「9条が好きと言えなくなつて」(作 篠原久美子+非戦を遊ぶ演劇人の会)をピースリーディングin国立市公民館卒業生有志が上演。参加者も募集中。
日時 6月18日(土)昼2時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 阿部(669) 0240

マトリョーシカの会コンサート

ゲストは東京外国語大学ロシア民謡研究会ルムークです。会員とのコラボレーションのほか参加者全員でロシアの歌を歌います。カナ付の楽譜あり。資料代500円。
日時 6月19日(日)朝11時~12時半
場所 公民館 地下ホール
連絡先 大貫(572) 5214

水彩画「パレット」作品展

第11回サークル会員による作品展を開催致します。今回も日頃楽しみながら描いている作品を、展示しますのでご覧下さい。
日時 6月21日(火)~26日(日)
朝10時~夕5時

場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 小幡(576) 5706

学習会「婚外子差別を考える」

3月に出された国連女性差別撤廃委員会の勧告でも是正を求められた婚外子差別とは何か。弁護士角田由紀子さんにお話を伺い、問題の根源にせまります。
日時 6月25日(土)昼1時半
場所 国立商協ビルさくらホール
連絡先 実行委(181) 8371

〈サークル訪問234〉 食物アレルギーサークル ここに

食物アレルギーの子をもつ親のサークルである。
2015年6月から月1回程度情報交換を行っている。サークルのフェイスブックページを見て中野区の方も参加した。現在会員は8名。



驚いたことがいくつかある。まず、全員の基礎知識が確かなこと。卵、乳製品などのアレルギーの程度を示す血液検査の数値を言えば誰もがその子どもが食べられる量の目安を理解できるので、話に無駄がない。エピペンと呼ばれる緊急時の補助治療薬(自己注射)を所持している会員も複数いた。
また幼稚園や小学校の先生がアレルギーについてよく研修し、積極的に関わっている様子も初めて知った。親は子どものランドセルなどに赤いシールを貼り、エピペンのありかを明確にする。先生は一刻を争う緊急時に備え、打つ練習をしているそうだ。また、申請した保護者に国立市は給食の献立と使われるすべての食材の量を数字にして届け、保護者は、場合によっては代わりのものを持たせる。学校と連携をとることが大事だと納得した。
会員の働きかけでアレルギー対応食品の仕入れが実現したスーパもあるそうだ。熊本地震情報を受けて、災害時の準備もなくてはなどと2時間は充実した話し合いに終始した。
大変な毎日のはずなのに、参加者が元気になっていくのが印象的だった。子どものアレルギー問題を抱える方、ぜひご参加をとのこと。

連絡先 大坂(99) 3537 2888
niconicoallergy@yahoo.co.jp

または「国立市食物アレルギーサークル」で検索してください。
〈写真・文 三好紀子〉



アレルギーは子どもたちを彩る個性のようなもの。でもいつか、手放せる日がきますように。